

## 第 24 回 コムズフェスティバル 市民企画分科会 実施報告書

グループ名	ピアリンク in えひめ		
開催日時	2月5日(日)10時～12時(120)分間		
テーマ	わたしが選ぶセクシャルライフスタイル—考えよう、体と心の自己決定—		
形式	オンライン・ワークショップ		
講師等	講師：ピア・アクティビスト 関まりこ氏 ワークショップ進行：本団体所属者4名		
参加人数	女性 6名	男性 1名	合計 7名

### 〈内容〉

生活に身近な事例を参考にしながら、セクシャリティに関する正しい情報の提供と、これから起こりうるライフイベント（妊娠や避妊、病院受診など）についてグループワークで意見交換を行った。形式は zoom を用いたオンラインイベントである。方法は、(公財) ジョイセフ※のセクシャル・リプロダクティブヘルス/ライツ (SRHR) 啓蒙事業である「I LADY.」セッションの一部を使用した。講師は協力団体ジョイセフから急遽派遣いただけることになり、せっかくの機会なので登壇いただくことになった。結果、ジョイセフの研修を受けたピア・アクティビストの関まりこ氏が講師として登壇していただき、進行を本団体のメンバーが行った。

参加者には気軽に参加いただけるよう、画面の前に各自で好きな飲み物やお菓子などを用意してもらった。昨年度までに行った当団体の分科会の内容をブラッシュアップし、オンラインでもディスカッションが可能な「ブレイクアウトルーム」の機能を活用しながらグループワークを多く取り入れる。会話の中で意見交換や問題定義をしながら、「ジェンダー」「性の多様性」「パートナーシップ」などについて、身近な事例をもとに考えを深めるワークショップを実施した。

### 〈参加者の感想〉

以下、事後アンケートより引用

本日はありがとうございました！温かい時間で学びも多くとお手も勉強になりました！「あなたが一生付き合っていくのはだれ？」、という言葉がとても響いています。私自身、愛媛県がどんなジェンダーの方も自分らしく働けるまちにしたいという思いがあるため、ぜひ今後ピアリングえひめさんの他の活動にも参加させていただきたいです。本日はありがとうございました。

初めて zoom で参加しましたが、新鮮で楽しかったです

参加型というところで緊張しましたが、とても勉強になりました。ジェンダーギャップについて、自分でも本当に無意識なところで思い込みがあるんだなと認識できました。参加された皆さんも同じような意見が多かったけど、その中でも納得できる内容や新たな気づきも合った

りして、自分について、子供のこれからについて考える良いきっかけになりました。ありがとうございました。

自分のことや他人のこと、もっと真剣に考える余裕が欲しいなあと思いました。時間は作ろうと思ったら作れるはずなのに、なんとなく毎日が過ぎてしまって…。残念ながら育児であまり参加できなかったですが、いろんな意見が聞けてよかったです。

ずっと気になっていて自分なりに勉強していたテーマですが、イベントに参加してみるというのは初めてだったのでいい経験になりました。性のことについて自分以外の人間と話して、考えるという機会は今までなかったのでとてもおもしろかったです。寝坊して途中からの参加になってしまったのがとても心残りですが、いい時間が過ごせました。ありがとうございます。

特に性教育は、「自分の体を守るための教育」だという認識を持っていたけど、パートナーの心と体を守ることが前提にあって、そのために「自分は何をするべきか」ということを考える教育なんだろうと思った。頭ではわかっているけどなかなか行動できない「理解しきれていない」ことが僕自身も多く気づけてよかった。もっと、男性やパートナーでの参加者が増えればいいと思ったし、「パートナー初心者講習」みたいな形があればいいと思う。

アンコンシャスバイアスは自然に身につけていることがあるため、偏った見方で相手を見ていたり、見た目でラベルを貼ってしまうことは気をつけようがないのかもしれない。ただ、そこで見えるものは、その人の一面でしかないので、その一面のみを評価することは相手を傷つけることだと新たに分かった。人付き合いをする時、相手に「～らしさ」を押し付けないようにしたいと思った。普段友人とも性交渉のことや、断り方など相談したりしないため、本日のワークは非常に学びの多いものでした。貴重な機会をいただき、ありがとうございました。

#### 〈まとめ〉

ILADY. のイベントとしては4回目の開催であり、高校や大学に通う学生世代から現役世代である方まで、7名の方にご参加いただきました。普段はあまり意識しない「ジェンダー」「性の多様性」「パートナーシップ」といった話題について、身近な話題をもとにしたディスカッションでお互いに考えを深めました。また動画なども積極的に用いて、情報をわかりやすく伝える工夫をしました。

今回のイベント開催を終え、イベント広報に課題を見出しました。特に今回扱ったテーマのワークショップは、本来は関心が無い層に対して行うことが必要と考えています。ただ、関心が無い層にアプローチすることが難しく、どのようにして関心をもってもらおうのかを考える必要性を実感しました。より多くの方が自分らしい人生を送る社会を目指して、今後もこの活動を精力的に続けていきたいと思っています。